(平成25年2月分)

部 門	市況の概要
野 菜	<p>2月期の野菜の入荷状況は、根菜類、葉菜類の多くの品目で、低温により生育不良がみられたものの、前年の入荷が少なかったこと、また、日照時間が多く、一部重量野菜で入荷量が回復傾向であったことから、入荷増となった。果菜類では、多くの品目で、低温により作柄不良がみられたものの、キュウリで中旬以降の回復傾向から入荷前年並み、トマトで着色遅れから入荷減、ナスで中央集散機能により入荷増、ピーマンで前年入荷が少なかったことから入荷減となった。野菜全体の入荷量は前年同期を6%上回った。</p> <p>価格は、根菜類では、細物傾向、秀品率が低かったことから単価安、葉菜類、果菜類の多くの品目で、前年が品不足で単価高であったことから単価安、土物類では、バレイショで品質の低下により単価安となった。野菜全体では前年同期を19%下回った。</p> <p>品目別には、タマネギが入荷増の単価前年並み、長ダイコン、西洋ニンジン、ハクサイ、ハウレンソウ、レタス、ナス、ピーマンが入荷増の単価安、キャベツ、キュウリが入荷前年並みの単価安、トマト、バレイショが入荷減の単価安となった。</p> <p>根菜類は、入荷が10%増加し、価格は22%安となった。 葉菜類は、入荷が17%増加し、価格は26%安となった。 果菜類は、入荷が6%減少し、価格は7%安となった。 土物類は、入荷が前年並み、価格は13%安となった。</p>
果 実；	<p>2月期の果実の入荷状況は、カンキツ類では、ミカンで前年の入荷が多かったことから入荷減、イヨカンで貯蔵期間を長くしていることから入荷減、イチゴ類では、作柄順調により入荷増、リンゴ類では、ふじで前年の入荷が少なかったことから入荷増、メロン類では、加温用重油の高騰による作付面積の減少から入荷減となった。果実全体の入荷量は前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、柑橘類では、ミカンで下位等級が多かったことから単価安、イヨカンで小玉傾向により単価安、リンゴ類では、ふじリンゴで入荷増により単価安、王林で需要の低迷により単価安、イチゴ類では入荷増により単価安、メロン類では入荷減により単価高となった。果実全体では、前年同期を9%下回った。</p> <p>品目別には、ふじリンゴ、イチゴが入荷増の単価安、ミカンが入荷前年並みの単価安、アールスメロンが入荷減の単価高、イヨカン、王林が入荷減の単価安となった。</p> <p>柑橘類は、入荷が9%減少し、価格は16%安となった。 リンゴ類は、入荷が前年並み、価格は27%安となった。 イチゴ類は、入荷が24%増加し、価格は16%安となった。 メロン類は、入荷が4%減少し、価格は13%高となった。</p>

主要品目（野菜）	市況の概況
<p>【根菜類】 長ダイコン</p>	<p>徳島県を中心に、長崎県、鹿児島県、滋賀県、神奈川県からの入荷。 多くの産地で、低温のため肥大不良がみられたものの、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期を14%上回った。 価格は、細物中心の入荷であったことから、前年同期を18%下回った。</p>
<p>西洋ニンジン</p>	<p>鹿児島県を中心に、愛知県、長崎県、鳥取県、中国からの入荷。 多くの産地で、低温により細物傾向であったものの、気温の上昇とともに回復したこと、また、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期を9%上回った。 価格は、秀品率が低かったことから、前年同期を14%下回った。</p>
<p>【葉菜類】 ハクサイ</p>	<p>鹿児島県を中心に、兵庫県、愛知県、長崎県、滋賀県からの入荷。 兵庫県産、愛知県産で、作付面積の減少や小玉傾向の入荷であったものの、鹿児島県産などの入荷が増加したことから、全体の入荷量は、前年同期を22%上回った。 価格は、入荷増により、前年同期を20%下回った。</p>
<p>キャベツ</p>	<p>愛知県を中心に、鹿児島県、兵庫県、大阪府、滋賀県からの入荷。 愛知県産で、低温により小玉傾向の入荷であったものの、鹿児島県産の入荷が増加したことから、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。 価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を26%下回った。</p>
<p>ホウレンソウ</p>	<p>京都府を中心に、徳島県、福岡県、茨城県、滋賀県からの入荷。 主力の京都府産で、低温により生育遅れがみられたものの、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期を39%上回った。 価格は、品質の低下がみられたこと、また、前年が単価高であったことから、前年同期を34%下回った。</p>
<p>レタス</p>	<p>兵庫県を中心に、徳島県、長崎県、愛媛県、岡山県からの入荷。 各産地とも、中旬以降の入荷が回復したこと、また、前年の入荷が少なかったことから、入荷量は、前年同期を38%上回った。 価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を23%下回った。</p>

<p>【果菜類】</p>	
<p>キュウリ</p>	<p>宮崎県を中心に、高知県、徳島県、滋賀県、鹿児島県からの入荷。</p> <p>各産地とも、低温により生育遅れがみられたものの、中旬から入荷が回復したことから、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、前年が高値であったこと、また、需要の低迷により、前年同期を26%下回った。</p>
<p>ナス</p>	<p>高知県を中心に、岡山県からの入荷。</p> <p>各産地とも、低温の影響から作柄不良がみられたものの、中央集散機能の発揮により、全体の入荷量は、前年同期を16%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により、前年同期を10%下回った。</p>
<p>トマト</p>	<p>熊本県を中心に、福岡県、三重県、佐賀県、長崎県からの入荷。</p> <p>各産地とも、低温の影響から着色遅れがみられたことから、入荷量は、前年同期を11%下回った。</p> <p>価格は、入荷減であったものの、前年が単価高であったことから、前年同期を8%下回った。</p>
<p>ピーマン</p>	<p>宮崎県を中心に、高知県、鹿児島県、沖縄県からの入荷。</p> <p>各産地とも、低温の影響から作柄不良がみられたものの、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期を9%上回った。</p> <p>価格は、前年が単価高であったことから、前年同期を14%下回った。</p>
<p>【土物類】</p>	
<p>バレイショ (メイク含む)</p>	<p>北海道を中心に、鹿児島県、長崎県からの入荷。</p> <p>主力の鹿児島県産で、生育期の好天により作柄順調であったものの、長崎県産の抑制栽培ものや北海道産の貯蔵品で品質の低下がみられたことから全体の入荷量は、前年同期を3%下回った。</p> <p>価格は、品質の低下がみられたことから、前年同期を22%下回った。</p>
<p>タマネギ</p>	<p>北海道を中心に、兵庫県、静岡県、中国、タイからの入荷。</p> <p>主力の兵庫県産で、貯蔵品の入荷が減少したものの、静岡県産で、葉付から切り玉に切り替わり、本月に前進出荷したことから、全体の入荷量は、前年同期を5%上回った。</p> <p>価格は、前年同期並みとなった。</p>
<p>【その他野菜】</p>	
<p>生シイタケ</p>	<p>徳島県を中心に、北海道、広島県、和歌山県、岡山県からの入荷。</p> <p>主力の徳島県産、北海道産で入荷が増加したものの、広島県産、</p>

和歌山県産，岡山県産で入荷が減少していることから，全体の入荷量は，前年同期並みとなった。

価格は，需要の低迷から，前年同期を7%下回った。

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	<p>和歌山県を中心に、福岡県、静岡県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、前々月からの収穫遅れ分の入荷が本月にずれ込んだものの、前年の入荷が多かったことから、全体の入荷量は、前年同期並みとなった。</p> <p>価格は、下位等級が多かったことにより、前年同期を23%下回った。</p>
イヨカン	<p>愛媛県からの入荷。</p> <p>酸の抜けが悪く貯蔵期間が長くなり、入荷が遅れていることから、入荷量は、前年同期を31%下回った。</p> <p>価格は、小玉傾向により、前年同期を10%下回った。</p>
ふじ (サン含む)	<p>青森県からの入荷。</p> <p>国内の出回りが少ないものの、前年の入荷が少なかったことから、全体の入荷量は、前年同期を3%上回った。</p> <p>価格は、中旬以降の入荷増により、前年同期を28%下回った。</p>
王林	<p>青森県からの入荷。</p> <p>生産面積は増加傾向にあるものの、品薄状態であることから、全体の入荷量は、前年同期を11%下回った。</p> <p>価格は、需要の低迷により、前年同期を31%下回った。</p>
イチゴ	<p>熊本県を中心に、大分県、福岡県、佐賀県、長崎県からの入荷。</p> <p>各産地とも、極端な冷え込みもなく作柄順調であったことから、入荷量は、前年同期を24%上回った。</p> <p>価格は、入荷増により、前年同期を16%下回った。</p>
アールス	<p>静岡県を中心に、高知県からの入荷。</p> <p>多くの産地で、加温用重油の高騰から作付面積を減少させていることから、入荷量は、前年同期を10%下回った。</p> <p>価格は、入荷減により、前年同期を19%上回った。</p>